

## 但馬地域公共交通計画の施策推進のための主な取組（令和 5 年度）

1. 兵庫県	1
施策⑮ 集約型バスターミナルの整備	
施策⑯ 駅待合環境の改善、駅舎の整備・改築、バス待合環境の改善	
施策⑰ パーク&ライド駐車場・駐輪場の整備	
施策㉔ 高速バスネットワークの充実	
2. 豊岡市	2
施策㉒ 鉄道の利便性向上、利用者数増加の取り組みの実施	
施策㉓ 公共交通への利用転換の意識啓発（モビリティ・マネジメントの実施）	
2. 養父市	3
施策㉖ 観光列車・観光周遊バスの運行、交通拠点からの二次交通の充実	
3. 朝来市	4
施策③ バス路線の再編・再構築	
施策⑤ デマンド型交通の導入	
施策⑰ パーク&ライド駐車場・駐輪場の整備	
4. 香美町	5
施策⑥ タクシーの活用	
施策⑯ 駅待合環境の改善、駅舎の整備・改築、バス待合環境の改善	
5. 新温泉町	6
施策㉒ 鉄道の利便性向上、利用者数増加の取り組みの実施	
6. 全但バス(株)	8
施策⑭ 鉄軌道車両、バス車両、タクシー車両のバリアフリー化	
施策㉑ バス運転手・タクシー運転手確保に向けた PR 活動の実施	

## 基本施策 5.交通結節点における利便性の向上

施策⑮ 集約型バスターミナルの整備

施策⑯ 駅待合環境の改善、駅舎の整備・改築、バス待合環境の改善

施策⑰ パーク＆ライド駐車場・駐輪場の整備

施策⑳ 高速バスネットワークの充実

### 高規格道路IC付近を対象に整備を検討中

<これまでの取組状況>

- ・ 県、市町、事業者が連携してIC付近におけるバスターミナル及びパーク＆ライド駐車場の整備に向けて協議中

<今年度の取組予定>

- ・ 引き続き、整備に向けた協議を継続
- ・ バスストップ設置連絡協議会において、北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道における各ICのバスストップ設置検討箇所を固め、関係者間でオーソライズする。



但馬地域公共交通計画における整備検討箇所

## 基本施策 10.公共交通の利用促進

## 施策③② 鉄道の利便性向上、利用者数増加の取り組みの実施

## JR山陰本線利用促進策創出ワークショップ

## &lt;目的&gt;

- 豊岡市竹野地域において地域の移動特性やニーズをさらに深掘りし、持続可能で実効性のある利用促進策を地域と協働して実行していくため、ワークショップを開催し、住民自らが利用促進に取り組む機運を醸成する。

## &lt;今年度の取組予定&gt;

- 5月～10月 5回のワークショップを実施  
地域主体の利用促進策を検討
- 実施可能な案があれば、本年度試験的に実施し、今後の取り組みにつなげる。

## &lt;実施状況&gt;

- 5/13(土) 第1回ワークショップ開催  
参加者：地域住民20名  
芸術文化観光専門職大学学生12名



## 基本施策 10.公共交通の利用促進

## 施策③③ 公共交通への利用転換の意識啓発（モビリティ・マネジメントの実施）

## ノーマイカーデーの実施

## &lt;概要&gt;

- これまで毎月第2水曜日を「豊岡ノーマイカーデー」とし、事業者の協力のもと、バス交通の利用促進に取り組んできた。
- 2022年度から毎月第2水曜日及び第4金曜日に拡大し、バス交通利用促進を拡充する。
- 毎月2回行政放送で利用を呼びかけるなど、周知に努めている。

## &lt;実施状況&gt;

- 豊岡ノーマイカーデー チケット販売数

2022年度	1,578枚
2021年度	694枚



## 基本施策 8.観光交通としての利便性向上

### 施策⑳ 観光列車・観光周遊バスの運行、交通拠点からの二次交通の充実

#### 鉄道およびJR八鹿駅からの二次交通利用促進事業（予定）

<今年度の取組予定>

#### 【概要】

**事業内容** ひょうごD.Cに合わせ、養父市への来訪者に対し、市内公共交通を利用した観光ツアーと市内映画ロケ地をイメージしたロケ弁提供により、鉄道およびJR八鹿駅からの二次交通利用促進を図る

**対象者** JR八鹿駅下車の高速バス又は特急電車利用者

**実施主体** 養父市土地利用未来課

**実施期間** 8～10月

事業実施期間に、1,000人の利用を見込む（20人/日×50日間を想定）



**基本施策 1.地域路線の再編**  
**基本施策 2.地域の実情に合わせた交通手段の導入**

**施策③バス路線の再編・再構築**

**施策⑤デマンド型交通の導入**

**1 公共交通に関する「市民アンケート」を実施**

<これまでの取組状況>

・ 前回の調査は、平成30年度に市内3000世帯を無作為抽出により実施（公共交通網形成計画策定時）。

その後、新型コロナや少子高齢化の進展などにより、社会を取り巻く環境が大きく変化している中で、公共交通に関する現状を把握するとともに、新たな公共交通体系の構築に向けた市民アンケートを実施。

<今年度の取組予定>

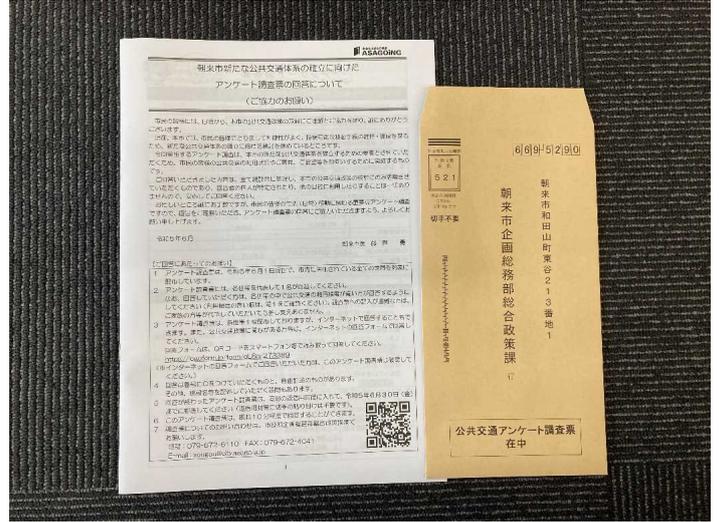
・ 6月中旬に市内全世帯を対象に実施。

予算額は700万円。

アンケート調査終了後、速やかに集計・調査分析・報告書の作成を行う。

<今後の検討方針>

・ 調査報告書は上半期に取りまとめ、広報誌やまちづくりオーラム等で市民に公表するとともに、市の新たな公共交通体系の構築に向けた検討資料として活用する。



**基本施策5.交通結節点における利便性の向上**

**施策⑰パーク&ライド駐車場・駐輪場の整備**

**2 特急はまかぜ利用者専用パーク&ライド駐車場**

<これまでの取組状況>

・ 令和4年度から、市民による特急はまかぜの利用促進を図る目的で補助金制度を創設した。

令和5年度は、特急はまかぜの利用促進を後押しするため、市が駅周辺の駐車場を借り上げ、無料駐車場として提供している。

<今年度の取組予定>

事業内容 特急はまかぜを利用する市民の自家用車等の駐車場が、事前予約により無料で利用できるサービス。

特徴 和田山駅：3台分、生野駅：3台分

実施主体 朝来市（R5予算：416千円）

実施期間 令和5年4月1日～

<今後の検討方針>

・ 特急はまかぜをはじめとする播但線の列車の利用促進を図ることによって、路線の維持・確保を目指す。

・ 市民が列車を利用しやすい環境整備を推進する。



## 基本施策 2.地域の実情に合わせた交通手段の導入

### 施策⑥ タクシーの活用

#### 障害者手帳等所有者へのタクシー割引事業の実施

##### <取組状況>

- 障害者手帳等所有者へのタクシー割引事業を実施

##### <事業概要>

- 助成対象者 身体障害者手帳等所有者
- 助成金額 助成対象者が町内で利用したタクシー料金の半額
- 利用実績 1, 572件 <令和4年度実績>
- 利用者の声  
「買い物等で日常的に利用するので非常に助かる」

##### <課題>

- タクシー会社の営業所がない地域での運用方法

##### <今年度の取組予定>

- 引き続き助成制度を運用し交通弱者の移動支援を行う

## 基本施策 5.交通結節店における利便性の向上

### 施策⑬ 駅待合室環境の改善、駅舎の整備・改築、バス待合環境の改善

#### 駅待合環境の改善

##### <取組状況>

- 香住駅の待合環境の改善と地元住民の鉄道利用の意識を醸成し、鉄道の日常利用の増加と駅の賑わい創出を目的にピアノを設置するとともに、「ステーションライブラリープロジェクト」を実施

##### <事業概要>

- 待合室利用者が自由に利用できる「駅ピアノ」を設置
- 香住駅待合室に設置した本棚にプロジェクト参加者が思い入れのある本や誰かに読んでもらいたい本を持ち寄り「ステーションライブラリー」を設置し、駅利用者と地域住民との繋がりをつくるプロジェクト

##### <今年度の取組予定>

- 香住駅と他の駅との繋がりづくりについて検討を進める  
(香住駅以外の駅への図書返却ボックスの設置 など)



# 基本施策 10.公共交通の利用促進

## 施策③② 鉄道の利便性向上、利用者の増加の取組みの実施

### 鉄道往復利用支援事業

#### <これまでの取組状況>

- ・ 浜坂駅から豊岡駅、城崎温泉駅、鳥取駅まで往復で利用する町民に対して、片道分の運賃を支援する事業を実施
- ・ 令和4年度は第1～3弾の計11日実施し、380人が利用

#### <今後の検討方針>

- ・ 鉄道の継続的な利用をしてもらえる仕組みづくりの構築

#### <今年度の取組予定>

- ・ 事業は7月～9月にかけて実施予定。

昨年度事業実施の様子



# 基本施策 10.公共交通の利用促進

## 施策③② 鉄道の利便性向上、利用者の増加の取組みの実施

### 特急はまかぜ利用助成金事業

#### <目的>

- ・ 町民の鉄道利用機会の増加と鉄道路線の維持に理解を深めていただくため。

#### <事業概要>

- ・ 町民が特急はまかぜを利用（町内4つある駅から大阪駅までの運行区間）した場合に、利用に係る乗車券や特急券の購入費用を助成し、鉄道の利用促進を図る。

※詳細は別紙のとおり

#### <実績>

- ・ 令和5年5月末時点 延べ利用者数 69名

#### <広報用チラシ>

**新温泉町特急「はまかぜ」利用助成金をご利用ください!**

新温泉町では、住民の皆さまの鉄道利用機会の増進と鉄道路線の維持に理解を深めていただくため、特急はまかぜを利用した際に、乗車にかかると見られる片道分の運賃の一部を支援する新年度補助金制度を創設しました。ぜひ、この助成金をご利用し、特急はまかぜをご利用ください。

**補助対象者**  
新温泉町民の方

**補助対象経路**  
(1) 新温泉町民の方が特急はまかぜを利用する際に「新温泉町特急はまかぜ利用助成金交付申請書(請求書)」を記入し、利用したことが確認できる乗車券(または乗車券等(紙製乗車券))を添付してご提出ください。  
(2) 新温泉町特急はまかぜ利用助成金交付申請書(請求書)は、町ホームページからダウンロードしていただくか、町役所(町民課)に窓口で申請用紙をお取りいただけます。  
(3) 乗車券や特急券をお持ちの際は、申し込みたい駅の乗車券(無人駅やワンマン列車等の場合)に「乗車券」として添付してください。※お忘れください。  
なお、入国審査、自動改札機通過の際では、きっぷ等を自動改札機に投入せずに、駅係員にお伝えください。

**申請の手続き**  
特急はまかぜを利用した日の曜日(または)30日以内「新温泉町特急はまかぜ利用助成金交付申請書(請求書)」を記入し、利用したことが確認できる乗車券(または乗車券等(紙製乗車券))を添付してご提出ください。  
申請書の受付を待たず、ご指定の銀行口座へお振込みを振り込みます。  
※「新温泉町特急はまかぜ利用助成金交付申請書(請求書)」は、町ホームページからダウンロードしていただくか、町役所(町民課)に窓口で申請用紙をお取りいただけます。  
※乗車券や特急券をお持ちの際は、申し込みたい駅の乗車券(無人駅やワンマン列車等の場合)に「乗車券」として添付してください。※お忘れください。  
なお、入国審査、自動改札機通過の際では、きっぷ等を自動改札機に投入せずに、駅係員にお伝えください。

**助成金の額**  
(1) 片道(往復)一回の利用に限り(往復) 1回(10月)以内の乗車券  
・ 特急券(乗車券) 4,070円×往復=8,140円  
・ 特急券(乗車券) 2,035円×往復=4,070円  
・ 乗車券の合計 8,140円+4,070円=12,210円  
・ 助成金 額 12,210円×3/10=4,210円(10月)以内の乗車券

**対象にならない場合**  
・ 新温泉町に属する4つの駅を利用していない  
・ 乗車券の額が当該乗車券の額を上回る場合は助成金を返金する(戻す)としている  
・ 乗車券から乗車券の返金が返る

**問い合わせ先**  
新温泉町役所 企画課 電話 082-5624(直通)

## 施策③② 鉄道の利便性向上、利用者の増加の取組みの実施

### 町民ふれあいの旅事業

#### <事業概要>

- 町民の親睦と鉄道の利用促進を図るため、特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅を実施する。

#### <令和5年度事業内容>

- 実施日…令和5年6月16日（金）～6月17日（土）
- 行先…愛知県（岡崎市、蒲都市等）
- 参加予定人数…37名（5月末現在）

#### <経過>

- 平成29年度の実施を最後に、参加者の減少や新型コロナウイルスの感染拡大等の影響を受け、実施できていなかったが、本年度6年ぶりの実施が決定した。

前回（平成29年度）事業実施の様子



## 基本施策 4.公共交通を安全安心に利用できる環境の整備

### 施策⑭ 鉄軌道車両、バス車両、タクシー車両のバリアフリー化

#### 低床化車両の導入

##### <昨年度の取組状況>

- 保有車両94台のうち、45台に低床化車両（ノンステップ）を導入済

##### <効果>

- 高齢者等の利用者の安全性が確保できた
- 利用者の声  
「乗り降りがスムーズになって利用しやすくなった」  
「買い物等で日常的に利用するので助かる」

##### <課題>

- 導入経費が高額であること

##### <今年度の取組予定>

- 低床化車両（ノンステップバス）を5台導入予定
- 国、県の補助を受け、車両購入費用を縮減しながら、引き続き低床化車両の導入を進める



## 基本施策 9.公共交通を担う人材の確保

### 施策⑲ バス運転手・タクシー運転手確保に向けたPR 活動の実施

#### バス運転手募集説明会・体験会の実施 定住促進の取組

##### <昨年度の取組状況>

- 実施日：①令和4年5月22日（日）  
②令和4年10月30日（日）  
※但馬地域外の参加者には定住促進の取組について説明
- 場所：但馬空港ターミナル駐車場
- 参加機関：ハローワーク、田舎暮らし倶楽部、但馬ふるさとづくり協会、あさご暮らし応援室、養父市ジョブサポ

##### <効果>

- 延べ29人参加
- バス運転手経験者の方も一定数あり、採用につながれば即戦力となる。

##### <課題>

- 定年退職運転士の補充
- 若年層の運転士の採用が極めて少ない

##### <今年度の取組予定>

- バス運転手募集説明会・体験会の実施  
実施日（予定） 第1回：令和5年6月17日（土）  
第2回：秋頃予定
- バス運転手専門の就職イベント等への出展

